

現在は食品添加物の評価業務を行っています。提出された資料や各種データを確認し、専門家会議において審議するために必要な評価書案の準備等を行うのが主な業務です。体内動態試験や動物での毒性試験、ヒトにおける研究等の各種試験データを読み込んで理

解し、評価書案を作成する必要があるため、化学・生物・薬学等の理系の知識を生かして薬系技官が活躍しています。食品添加物や農薬の評価においては、医薬品の承認審査とは異なり、臨床試験が行われなため動物での毒性試験を中心に評価することや、健康な

幅広い集団が摂取する前提であることが医薬品の評価とは異なると感じており、医薬品関係の課室とはまた違った観点での評価が経験できます。



内容に関する
参考ホームページ
QRコード



評価第一課
国際添加物係長
杉山 真麻子
Sugiyama Maako

食品安全委員会

科学的知見に基づき、全ての国民の生活に欠かせない食の安全を守る

食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等のリスク管理を行う行政機関から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正にリスク評価を行う機関です。農薬や添加物など食品に意図的に使用される物質や、カビ毒や重金属など環境中から食品に移行してくる物質などについて、行政機関による規格基準策定に際して、これらの物質が人の健康に与える影響の評価を行っています。